

# PROGRAM

春	の	海	.....	宮	城	道	雄
春		吹	.....	横	山	勝	也
み	だ	れ	.....	八	橋	検	校
鹿	の	遠	.....	尺	八	本	曲
二	つ	の	.....	横	山	勝	也
虚		空	.....	作	曲	者	不
風		動	.....	杵	屋	正	邦

## 四季のコンサート 春

1991年4月16日 火 6:45 PM  
浜松市民会館ホール  
主催：浜松音楽友の会

古屋輝夫 (尺八)  
1949年 大阪府高槻市に生まれる。  
1967年 尺八を始め、1969年より横山勝也氏に師事。  
1971年 NHK邦楽技能者育成会を卒業すると同時に、NHK邦楽オーディションにも合格。  
現在 国際尺八研修センター主任講師。  
真玉和司 (尺八)  
1947年 横浜市出身。  
1964年 尺八を始め、1970年より横山勝也氏に師事。  
1970年 法政大学史学科卒業。  
1972年 NHK邦楽オーディション合格。  
1973年 NHK邦楽技能者育成会18期卒業。  
現在 国際尺八研修センター主任講師。  
大成道子 (寧・十七弦)  
1978年 NHK邦楽オーディション合格。  
1981年 NHK邦楽技能者育成会26期卒業。  
現在 中野学園師範。

横山勝也 (尺八)  
1934年 静岡県に生まれる。琴古流・吾妻流尺八を祖父豊、父蘭蔵に学ぶ。  
1959年 福田蘭童、海童道祖の両師に師事。  
1967年 武満徹作曲「ソレ・ソレ・ソレ」を小沢正樹指揮・東京交響楽団と共演。以来、シカゴ、ボストン、トロント、パリ、ロンドン、ニューヨーク、サンフランシスコ、トロント、ベルリン、パリ国立、アマステルダム、コロンボ、モントリオール、名古屋フィル、等と延100回以上共演を行う。  
1971年 芸術選奨受賞。  
1972年 芸術奨励賞受賞。  
1973年 芸術大賞受賞。香港フェスティバル、ロンドン、ヨーロッパ巡演。オーストラリア、インドネシア、ハワイ落成記念コンサートにNHK響と共演。  
現在 東京音楽大学助教授。国際尺八研修センター館長。らんぼ社(蘭蔵会、竹心会)主宰。  
現在まで数多くの海外における音楽祭や演奏会に出演し、また、レコードやCDもたくさん発売され、名実ともに日本を代表する尺八の演奏家である。



## 日本音楽のタベ

## 春の海

宮城道雄 作曲

昭和4年(1929)に作曲された宮城道雄(1894~1956)の代表作品。

昭和5年の宮中の歌御会始の勅題「海辺巖」(かいへんいわみ)に因んでつくられたもので、以前に瀬戸内海を船で旅した時の印象から、波の音、鳥の声、漁師の舟唄などを素材にして標題曲としてまとめられた。

箏と尺八の二重奏曲であるが、昭和7年に来日したフランスのルネ・シュメーが尺八の部分ヴァイオリンに編曲し、宮城の箏で吹き込んだレコードが世界的にも好評を博し、宮城の代表作中の代表作として知られるようになった。

## 春吹

横山勝也 作曲

尺八を吹く人そのほとんどが所有する一尺八寸管同士で合奏できるように作曲しました。尺八二重奏と云うと古典本曲に「鹿の遠音」がありますが、以来二重奏のジャンルがほとんど手つかずの状態です。もっともっと沢山の曲があっても良い筈です。私にとっては理里有楽(りりうら)に次いで尺八二重奏の二作目であります。

## みだれ(乱輪舌)

八橋検校 作曲

みだれは、段物(だんもの)と呼ばれる曲の一つで、他の段物に比べ、段の区切りもなく、拍数の制限がなく、自由に曲が構成されている。そのため、この曲はみだれといわれている。

作曲者 八橋検校(やつはし けんぎょう)(1614~1685)は、今日箏曲と呼ばれている音楽の基礎を築いた人物であるが、1685年は、バッハが生まれた年でもある。

## 鹿の遠音

琴古流尺八本曲

歌人は「奥山にもみち踏み分け鳴く鹿の声聴く時ぞ秋はかなしき」と詠いました。

浮世の俗を断とうとして一本の竹(尺八)に身を託して諸国をさすらった虚無僧が鹿の遠く鳴く音に感じたものは何んだったのでしょうか。名利の外に生きたとはいえ、雨露もしのがねばならず、飢えとも闘わなければならなかった筈。悟りの境地はいつになったらと、空を仰ぐ日もあったでしょう。

普化宗本曲の大方が独奏で作られているのに、この曲は二管の掛け合いで作られている特殊性があります。曲名の示すままに深山幽谷にこだまする雄鹿を慕って鳴く雄鹿の叫び声を描写していると解釈されるのが普通ですが、「声聴く時ぞ秋はかなしき」と詠じた歌人の心そのままに孤独感、寂寥感と解したい気持ちが湧いてまいります。文部省共通鑑賞教材曲に選ばれているこの曲は近い将来、今一度日本人の心のふるさととして多くの人々に愛される曲になることでしょう。又それを私は願って止みません。

## 二つの歌

横山勝也 作曲

色は匂えど散りぬるを  
我が世なれそ常ならむ  
有無の奥山今日越えて  
浅き夢見し酔ひもせず

アイウエオと並んでイロハニホヘトは我が国のアルファベットであります。機能本位のアイウエオと異なり前述の様な歌になるところが子供の頃から好きでした。器楽の後に続く二つ目の歌は、楽鹿秘抄にある竜女(りゅうにょ)の教化(きょう化)で真言宗の声明です。

竜女ですら仏になれるのであるから衆生は、きっと救われるという歌です。

17弦箏は通常二オクターブに調弦されますが、この曲では四オクターブにして音域を拡げています。尺八は一尺六寸管と二尺四寸管、能管の3本を使用。1978年作曲。

## 虚空

作曲者不詳

尺八古典本曲中最古の調べで、およそ7百年前の作と伝えられる虚空とは広辞苑によれば、一切の事物を包含してその存在をさまたげない無為法とある。一切空の観念の音化とも考えられる。

## 風動

岸屋正邦 作曲

昭和40年12月、「尺八三本会」の委嘱によって作曲された。作曲者によると、風動という文字に魅力を感じて、それを、内面的に表現したいと以前から考えていたそうである。四つの部分(起承転結)からなり、起に当たる部分は、各奏者の受け渡しを主とする氷い呼吸を思わせるもの、続いて承では刺戟的な音色を用い、一変して6/8とか5/8拍子による軽快な部分の転となり、再び静かな初めの感じが戻って結ばれる。

(田辺秀雄)